



## 口腔の健康 歯科保健の向上に貢献 ～枕崎市食生活改善推進員連絡協議会に表彰状

■枕崎市食生活改善推進員連絡協議会(上釜いほ会長)が、社団法人がごしま口腔保健協会から表彰を受けました。これは、長年にわたる食生活改善推進員としての活動に加え、「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という8020運動の推進員として、地域住民に対して、口腔の保健増進の取り組みを積極的に実施してきたことが認められたものです。また、同協議会では研修会を定期的に開催して研鑽を重ねることで、食をとおして地域住民の健康促進に貢献してきました。

上釜会長は「会員みんなで協力し合い活動してきました。これからも市民の健康のため、体にいい料理の普及に努めます」と話していました。



## ロッテ青野選手ら3選手が自主トレ ～プロ野球3選手が市営球場で自主トレーニング

■南さつま市坊津町出身で千葉ロッテマリーンズに所属する青野毅選手(内野手・写真右から2番目)、同じく坊津町出身で四国アイランドリーグの徳島インディゴソックスに所属する大谷龍次選手(外野手・写真右)、オリックス・バファローズに所属する斉藤俊雄選手(捕手・写真左)のプロ野球3選手が1月7日から17日まで市営球場を中心に自主トレーニングを行いました。

1月11日には3選手が市役所を訪れ、青野選手が市長にユニホームをプレゼントし「ベナントレースで活躍して、またここに帰ってきたい。応援をよろしくお祈りします」と次期シーズンの活躍を誓いました。

## 心豊かに！本の世界の楽しさを体験 ～ふれあい図書館まつり

■ふれあい図書館まつりが1月15日、サン・フレッシュ枕崎で開催され、たくさんの親子連れでにぎわいました。オープニングでは、読み聞かせボランティアグループ『たんぼほのわたげ』が中国楽器の二胡と揚琴を使った『スーホの白い馬』の朗読や、有名な昔話を芝居を交えて面白く紹介する『実物につぼん昔ばなし』で会場を沸かせていました。その後、読み聞かせボランティアグループによる『おはなしの部屋』や読書講演会が行われました。

読書講演会では、椋鳩十顕彰の会事務局長の畠野洋子さんが『ことばが心を育てる』という演題で講演。「読書や読み聞かせにより豊かなことばが蓄積され、豊かな心が育つ」と読書の大切さを訴えました。



## 小・中学生が火の用心を呼びかける ～亀沢公民館が火の用心夜回り

■年末の防犯・防火に努め、小・中学生の交流及び青少年健全育成を目的とした亀沢公民館による『火の用心』夜回りが12月28・29日に行われ、小・中学生延べ56人が参加しました。この夜回りは平成20年から始まり、今年で4回目となります。

参加者は2手に分かれ、昔ながらの拍子木を打ちながら、地区内をくまなく回り、火の用心を呼びかけました。同公民館の藤田恵館長は「年々参加人数が増え、うれしく思う。防犯・防火意識の高揚はもちろんのこと、このような行事が人間関係の深まりと青少年の健全育成につながればありがたい。これからも続けていきたい」と話していました。



## 稚内市とつながる①

■問合せ 企画調整課企画調整係  
TEL72-1111 内線226



## 稚内を旅して 厚石近志さん(桜山東町)

ハーレークラブ「みなみの風」の友人、川畑光さんと愛車で稚内まで旅しました。7月下旬でしたが、稚内は涼しく、枕崎との違いを感じました。

私は枕崎のライオンズクラブに所属しています。そこで、稚内では現地のライオンズクラブの例会に参加させてもらい、夜遅くまで楽しく交流させてもらいました。そのときに食べた稚内の珍味かんかい(氷下魚)はとても美味でした。

友好都市になることで、お互いの特産品の交流が進み、両市の活性化につながることを期待しています。

稚内市との友好都市締結が間近に迫っています。そこで「稚内市とつながる」をテーマに今月から2回にわたり特集します。

稚内市との友好交流都市盟約締結の調印式が4月28日、稚内市で行われる予定です。翌日、同市では稚内駅前再開発ビル(キタカラ)がグランドオープンします。このオープンに合わせて調印式が行われる予定です。

# 4月に稚内市と 友好都市締結へ

「最北端と最南端の始発終着駅の関係を産業や観光の起爆剤に」と神園市長が稚内市を訪れ友好都市の申し入れをしたのが昨年1月のこと。それから交流を重ねてきて今回、待ち待った締結となります。

また、この調印式に合わせて稚内駅に到着する日本縦断鉄道の旅を南薩エアポート(株)が企画中です。募集などの詳細については、次号本コーナーでお知らせします。

稚内の  
今を紹介



市では、稚内駅周辺地区をかつての賑わいのある中心市街地とすることを目的に、交通・情報・交流・賑わいの拠点として、整備を進めてきました。

## 「マチ」と「みなと」が連携したまちづくり 待望のグランドオープン

稚内駅前再開発ビル(キタカラ)や稚内駅前広場の整備が平成23年度末に全て完成し、いよいよ4月29日(日)にグランドオープンします。

稚内駅前再開発ビル(キタカラ)には、現在、T・ジョイ稚内(映画館)とバスターミナルがすでにオープンしていますが、グループホームと高齢者専用賃貸住宅、飲食・物販店や地域交流センターが新たにオープンします。

さらに、このグランドオープンに合わせて、JRの最北端、最南端の鉄道の始発・終着駅が、「縁」で結ばれている、本市と枕崎市との友好都市提携の調印式も予定しています。



「広報わかない」1月号から転載。左は表紙



新しい稚内の顔となる「駅前再開発ビル kitacolor (キタカラ)」